

まちかどフォトニュース

おもしろいこと、珍しいもの、どんなことでもいいので耳よりな情報をお知らせください。
三好市 秘書広報課 ☎ 72-7646



旧政海旅館に東京の企業が新たに進出

東京都で働く女性の子育てや介護の支援など家事代行サービスを手がける「株式会社ベアーズ」が11月4日、池田町旧政海旅館にサテライトオフィスを開設し、開所式が開催されました。開所式では、高橋健志社長が「地域との交流を大切に三好市の更なる発展に貢献していきたい」とあいさつ、県や市、阿波池田商工会議所など地元関係者33人が出席し門出を祝いました。ベアーズは、顧客からの問い合わせの対応や各種書類などの情報処理や一元管理を行い、3年以内に15人以上の雇用を目指します。

旧佐野小学校に北海道の企業が新たに進出

スポーツ用品の製造販売を手がける「風の株式会社」(札幌市)が11月8日、旧佐野小学校にサテライトオフィスを開設し、開所式が行われました。開所式では、小島健吾社長が「これから地域に貢献し、末永く皆さまとお付き合いさせていただきたい」とあいさつ、県や市、地元住民など約60人が出席し、門出を祝いました。式の後には北海道の食材を使ったバーベキューが振る舞われ、社員や地元住民が交流しました。風の株式会社は現在、本社社員1人と地元雇用4人の5人体制ですが、3年後をめどに15人体制に拡大する予定です。



3県の妖怪伝説を題材に怪フォーラム

妖怪伝説が数多く残る3県が連携し地域活性化を進めようと11月23日、妖怪について語る「怪フォーラム」がホテル大歩危峡まんなかなどで開催されました。「怪フォーラム」は水木しげるさんを会長とする世界妖怪協会が「怪遺産」に認定している鳥取県境港市、岩手県遠野市、三好市で2年前から開催しています。フォーラムでは、3県知事らによる「妖怪大談義」や京極夏彦氏・荒俣宏氏による「お化け大学校」が行われ妖怪の魅力などについて話し合いました。また妖怪まつりも開催され、山城に伝わる児啼きじじいやゲゲゲの鬼太郎に登場する妖怪など3県の妖怪が一同に集まり、華やかな妖怪行列が行われ、参加者を楽しませました。

源内の里で郷土芸能を披露



人が集まり楽しく帰っていただける里を創っていこうと11月3日、祖谷源内の里ふるさとまつりが西祖谷山村重末の祖谷源内の里小屋掛け舞台で開催され、市の無形民俗文化財に指定されている八幡獅子太鼓や襖からくりなど祖谷の郷土芸能が披露されました。また、韓国の車名譽教授による民族舞踊の発表や日韓交流14周年を記念した写真の展示もあり、訪れた観客は温かいそばを食べながらふるさとまつりを満喫していました。

威風堂々と武者行列



三好市にゆかりのある戦国武将・三好長慶を生かして地域活性化を図ろうと11月2日、「三好長慶武者行列まつり」が三野グラウンドで開催されました。会場では三野中吹奏楽部の演奏や備州岡山城鉄砲隊による火縄銃の空砲演武など多彩な催しがあり、訪れた多くの見物客を楽しませました。また、武者行列では、市民や県内外の長慶ゆかりの団体から約200人が参加。よろい姿の武将や旗持ちなどに扮し、出陣式で勝ちどきを上げた後、会場周辺約4キロを威風堂々と練り歩きました。

大阪芸大生が襖からくり上演



山城町に伝わる妖怪伝説を題材に11月2日、大阪芸大生や教員による襖からくり公演「おぎゃーなき」が徳善阿弥陀堂で披露されました。公演では、デザイン学科の学生が描いた妖怪の襖絵111枚が講師の語りに合わせて次々と転換され、襖絵を巧みに操る学生に観客から拍手が送られました。また、妖精に扮した学生の華麗なダンスなどが披露され、かがり火の炎に照らされた幻想的な舞台の中、妖怪と大学生との共演に観客は魅了されました。

シーズン到来 井川スキー場オープン

井川スキー場腕山で11月21日、今季の営業が始まり、シーズン中の安全を願う神事やテープカットの後、スキーヤーやスノーボーダーたちは、さっそくリフトに乗り込み、思い思いのシュプールを描いていました。丸亀市から訪れた鈴木聖也(20)さんは、「友達に誘われて初めてのスノーボードに挑戦、夕方には滑れるようになってまた来たい」と何度も友人と練習していました。今季の営業は来年3月8日までの予定です。今シーズンの初滑りにぜひ井川スキー場腕山に足を運んでみてはいかがでしょうか。



歌う楽しさを知る そらの郷コンサート

とくしま記念オーケストラメンバーと三好市民第九合唱団とによる「そらの郷コンサート」が11月22日、池田総合体育館で行われ、躍動感あふれる演奏と素晴らしい歌声に、会場からは惜しみない拍手が送られました。今回、ステージで一緒に歌う出演者を募集したところ、小学生2名、高校生1名が参加し、アナと雪の女王の挿入歌「Let It Go」が披露されました。ステージで歌った三縄小学校5年の藤本亜未さんと藤村実穂さんは、「緊張したけど、すごく楽しかった」と晴れ舞台での喜びをかみしめていました。



手作り英語マップで西祖谷の魅力を紹介

西祖谷中学校の生徒12人が、手作りした英語の観光マップを作成し、11月11日、12日の2日間、かざら橋周辺で外国人観光客に配布しました。マップをもらったフランス人観光客は、「無料で驚いた。面白くて素晴らしい」と大変喜んでいました。マップは祖谷の郷土料理や観光地、かざら橋周辺の地図を英語やイラストで説明した3種類があり、生徒たちが1カ月以上かけて、地元の観光地やホテルの方などにインタビューし作成。2日間で700部を配布しました。生徒たちは緊張しながらも外国人観光客に積極的に話しかけ、交流を楽しんでいました。

情愛豊かな演出で観客を魅了

三好市出身の浄瑠璃人形遣いの勘緑さんがプロデュースする三好市人形浄瑠璃公演が11月3日、池田総合体育館で開催されました。公演は2部構成で、第2部では幻想的に照らされたステージの中、「新釈 姥捨山」が上演され、徳島県出身の作曲家・住友紀人さんらが奏でる美しい音楽と朗読家の山下智子さんの感情豊かな語りにあわせ、勘緑さんらが巧みに人形を遣って熱演。生き生きとした人形の動きに来場者は固唾を呑んで舞台に見入っていました。終演を迎えると観客から大きな拍手が送られました。



支え合いをテーマに福祉大会



第9回三好市社会福祉大会が11月9日、池田総合体育館で開催されました。元TBSアナウンサーで現在フリーアナウンサーの吉川美代子さんを講師にお迎えし、「地域社会の安全とコミュニケーション」と題した記念講演が行われました。吉川さんは、「声にも表情がある。実際にあって声を出して話しをすることがコミュニケーションでは一番大切」とし、自宅で簡単にできる正しい声の出方を披露してくれました。その他にも展示コーナーや列車戦隊トッキュウジャーショーが行われ、多くの親子連れでにぎわいました。

なでしこでハロウィンパーティー



第33回なでしこまつりが、11月8日と9日の2日間、辻小学校周辺で開催され、各種作品の展示やバザーなどの催しが行われ、多くの来場者でにぎわいました。また、今年は初めてとなるハロウィンパーティーが行われ、子どもたちは思い思いの仮装姿でオリジナルのお菓子袋を作成。そこへお菓子がたっぷり入ったおばけが登場し、みんなで力をあわせておばけをやっつけました。退治したご褒美にお菓子をたくさんもらった子どもたちは嬉しそうに、笑い声が会場に響き渡りました。

ドイツ指導者とスポーツで交流



日独青少年指導者セミナーの一環として11月3日～6日、ドイツでスポーツを教えている指導者7名が三好市を訪れ市内で交流を深めました。この事業は、日本とドイツの青少年指導者が相互に交流し両国の理解を深めることを目的に日本スポーツ少年団主催で開催されており、5日には池田高校で部活動を見学し、剣道や弓道などを日本の武道を体験しました。また、池田小学校では池田JFCのスポーツ少年団員らとサッカーで交流し子どもたちと楽しく汗を流しました。

地域が一つに防災フェスタ



今後起こりうる災害に備え、地域の防災意識を高めようと11月30日、はくあい防災フェスタが著蔵小学校で行われました。会場では、AED使用体験や小型ポンプでの放水体験、婦人会による炊き出しなど地域一丸となって行われました。

また、防災講演会も行われ、講師のNPO法人ゆめ風基金の八幡さんは、「防災訓練はコミュニティを作るのにいい機会なので、障害のある人ない人みんなに積極的に参加してほしい」と来場者に訴えました。

貯筋を貯めればいつまでも元気



三好市健康増進フォーラムが11月29日、三好市保健センターで行われました。フォーラムでは鹿屋体育大学学長の福永哲夫さんによる「使って貯めよう筋肉貯筋～使えば無くなるお金の貯金～」と題した講演会があり、「加齢によって、太ももの筋肉が特に減るため、鍛えることで病気にもなりにくく、頭もさえるため認知症予防にも効果がある」と運動の大切さを語られました。また、福永さんが作詞した「ちよきんのテーマ」という曲をみんなで歌いながら筋力アップの体操を行いました。

一足早いクリスマスをお届け



阿波池田駅を利用している方々にクリスマス気分を味わってもらおうと11月27日、池田幼稚園によるクリスマスツリーの飾り付けが駅のホームで行われました。赤い帽子をかぶった園児たちは高さ約2メートルのモミの木に、画用紙で作ったサンタのリースを飾り付け、かわいいツリーを完成させました。その後、園児たちは「あわてんぼうのサンタクロース」「ジングルベル」など歌やダンスを披露し、保護者や駅利用者に一足早いクリスマス気分を届けました。ツリーは12月25日まで飾られます。

地域振興策で市長サミット



観音寺市、四国中央市、三好市の3市が四国中央地域の活性化や振興策を探る「四国まんなか市長サミット」(四国まんなか交流協議会主催)が11月20日、観音寺市立中央図書館で開かれ、3市の市民や関係者ら約120人が参加しました。4回目を迎えた今回は各市の商店街の活性化に取り組んでいる団体などによる事例発表や発表者と各市長による地域振興策や活性化についてパネルディスカッションを行い、取組事例に対する質疑応答や四国まんなか地域の今後の連携や方向性について考えました。

長年の貢献を表彰



三好市優良従業員表彰式が11月19日、池田総合体育館で行われました。三好市と阿波池田商工会議所、三好市商工会が主催したもので、この日は市内の7事業者11人が表彰を受けられ、7人が出席し、一人ひとりに表彰状と記念品が贈られました。表彰を受けた方は長年にわたって勤務され、事業所の業績発展だけでなく、三好市の産業の発展にも貢献された方々です。受賞された皆さまおめでとうございます。

税に関する優秀作品を表彰



税を考える週間の一環として、三好地区内小・中・高校生から募集した「税に関する作品」の表彰式が11月12日に保健センターで行われました。作品には、作文・書道・標語・絵はがきの4部門あり、応募総数は1,489点。三好市からは、児童・生徒39人と租税教育に尽力した小学校5校に賞状と記念品が贈られました。また、作文の部より作文の朗読を行った池田高等学校の藤本紗織さんは、「租税教室で税金は誰かの幸せになると聞いた。この意識を大切にしたい」と発表しました。